

第1編 管内概況

1 管内概要

津保健所が所管する津市は、三重県の中央部に位置し、面積約710km²と県内市町では最大の面積です。

人口は、平成の大合併以前は約16万人と全国の都道府県庁所在地の中で最少でしたが、津市、久居市、安芸郡（河芸町、芸濃町、美里村、安濃町）一志郡（香良洲町、一志町、白山町、美杉村）の10市町村が合併した結果、都道府県庁所在地の人口順位は38位（2014年4月5日現在の自治体構成）で、四日市市に次ぐ県下第2の人口規模となりました。

津市は、ローマ字では「Tsu」ですが、ギネスブックには「Z」と一文字で登録され、世界一短い地名として、また同様に、津駅も世界一短い駅名として記載されています。

歴史的には、古くは「安濃津」として広く知られ、平安時代の文献には平安京にとって重要な港とされ、「津」とも呼ばれて長く繁栄しましたが、明応7年（1498年）の明応地震の津波で、大きな被害を被りました。

また、津市は古くから伊勢おかげ参りの宿場町として栄え、伊勢音頭で「伊勢は津で持つ、津は伊勢で持つ、尾張名古屋は城で持つ」と歌われています。

その他伝統行事として、江戸時代の外交使節「朝鮮通信使」をまねた「唐人踊り」（三重県無形民俗文化財）が、毎年秋に行われる津まつりで披露されています。

(1) 管内略図（三重県津市）

